



平成16年10月17日

ここのえ町

議会だより

第67号

発行／九重町議会

〒879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集／議会広報編集委員会

印刷／尾花印刷有限会社



大分県消防大会で優勝した4分団の皆さん

9月定例会

●第3回定例会 補正予算 P.2

●陳情・議案 P.3

●一般質問（5名登壇） P.4

●わたしのひとこと

南山田 梅木 武彦さん P.9

東飯田 佐藤 信義さん

●こんな町にしてほしい 野上中学校3年 左藤 恭子さん P.10

平成16年

第3回定例会

9月
定例議会

平成16年第3回定例会は9月7日から16日まで開かれました。

議案7件、陳情2件を慎重に審議し、いづれも原案どおり可決しました。

一般会計補正予算は二億六千六百七十八万二千元を追加して累計で七十七億七百二十五万一千円となりました。

また、決算認定に付された予算議案7件は決算審査特別委員会に付託し継続審査となりました。

補正予算の主なもの

▽ かけぼし米の推進事業補助金

・ 3百万円

▽ 町道平家山線測量委託

・ 1千3百万円

▽ 全国消防大会出場補助金

・ 2百万円

▽ 吉部住宅修繕料

・ 2百万円

▽ 障害児居宅介護生活支援費補助金

・ 百1万7千円

▽ 震動の滝公共トイレ移転補償費

・ 1千百88万3千円

▽ 基金積立費

・ 2億1千7百17万円

かけぼしにされた稲

補正予算質疑 Q & A

Q 集会場建設予算減額にともない、用地ができなくて減額とのことだが、用地を完全に取得して予算をつけるべきではなかったか。

A 昨年の12月と1月に地元を確認をして予算措置をしたが中山間地の農業補助事業の関係で用地確保が無理となり、減額になった。

Q 一行政区一集会所の原点はどうなるか。

A 一行政区一集会所は、今後周辺自治区との話し合いをしながら事業の見直しをしていきたい。

Q 減額になった事業費は他の集会所建設にまわすのか。

A 企画と財政で事業調整をしていきたい。

Q 林業振興費の4百30万円は。

A 林道鹿伏線と菅原線の道路維持費である。

Q 特定防衛施設周辺整備事業費の1千3百万については。

A 町道平家山線の調査、測量、設計の委託料。17年度より事業実施です。

Q 17年度事業なのになぜ16年の予算。特防予算なので前の年より計画をして事業を進めなくてはならない。

議会の動き

7月

4日 九重町消防大会

13日

自営者育成後援会総会（玖珠町）

15日

正副議長研修会（大分市）

16日

国道387号宇佐玖珠地方道路整備促進期成会総会（安心院町）

21日

日田玖珠市町村議会議長会総会（日田市）

23日

議員定数・政治倫理研究会

27日

玖珠郡議員大会（玖珠町）

29日

玖珠郡農業会議（玖珠町）

30日

議長・教育民生常任正副委員長研修会（大分市）

8月

6日 議会広報研修会（大分市）

10日

消防団退団者感謝状贈呈式

16日

玖珠郡育英会理事会玖珠郡老人養護組合議会（臨時会）

23日

本会議（臨時会）

23日

議員研修会

23日

全員協議会

国道387号整備促進期成会要望活動（福岡市）

教育委員の 任命に同意

現教育委員の佐藤昭八郎氏の任期が平成16年10月7日に任期満了となるため、同氏の再任に満場一致で同意しました。

佐藤昭八郎氏



武石 良一氏

現教育委員の武石良一氏の任期が平成16年10月7日に任期満了となるため、同氏の再任に満場一致で同意しました。



みなさん方の陳情や
請願はこうなりました。



陳情

◆ 九重町建設業協会、
会長井原淳一氏からの政治倫理条例の制定については。

◆ 野上地区、区長会長
日野爾郎外7名からの、
中村地区の街路灯の改修
については。

政治倫理条例の制定については議会内に政治倫理研究会を6月9日に設置し、現在本件について先進地の視察を含め種々の観点から研究を進めていることから本陳情については採択することで意見の一致をみました。

この街路灯は旧野上地区財産区の予算で設置、すでに30年以上が経過しています。ほとんどが支柱の腐食によって電灯等の落下事故が予想され非常に危険な状況であることから早急に対応する必要があるため採択することで意見の一致をみました。



また中村地区については今後豊後中村駅舎の改築も予想され、大吊橋の玄関口にもなることから、町並みの景観を損ねないような配慮も必要と思われるので委員会の意見として付記しておきます。

委員長報告に対する質疑

(総務財政委員会)

質問 中村地区の街路灯

の改修については委員長報告の通り採択に理解できるが、他の自治区にある街路灯との整合性を考えた時に、中村地区と同じ助成ができるとの理解でよいのか。

委員長 従来通り慣例によつて町の助成を一部お願いしていく。



豊後中村駅周辺の商店街

お詫びと訂正

前議会だより66号中の「こんな町にしてほしい」欄で投稿していただいた東飯田中学校3年の「安藤未咲さん」の「未」が「美」となっていました。訂正をしてお詫び申し上げます。

26日	全員協議会
"	鹿児島県加治木町議会議員視察来町
27日	議員定数・政治倫理研究会視察
"	(福岡県香春町)
"	くじゅう連山環状道路整備期成会
"	(久住町)
9月1日	日出生台演習場関係3町議会連絡協議会
2日	議会運営委員会
3日	大分県消防操法大会
7日	優勝祝勝会
"	議会広報特別委員会
8日	議会広報特別委員会
10日	総務財政常任委員会
"	建設産業常任委員会
11日	戦没者慰霊祭
13日	教育民生常任委員会
16日	本会議(閉会)
18日	県民体育大会

私の一般質問

9月8日に5名が質問しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

本町の介護保険大丈夫か

町長／ 厳しい状況である



小川 克己

問 介護保険

制度はスタトとして間もないというのに早くも財源不足が見込まれ、国においても大幅な改正が17年度に予定されている。本町の利用状況は居宅サービス・施設サービス共に増加し、パンク寸前と思うが以下について問う。

一、要介護認定者数の推移と今後。

答

要介護認定者数は平成12年が531人、現在794人で263人増えています。今後の見通しとして19年がピークと考えています。

介護保険の財源的なものは問題点が多々でています。給付費の増大が心配され、17年度改正も含め厳しい状況が予想されます。

施設等に入れない待機者数については約110



町保健福祉センターでディサービスを受ける人たち

一、認定者増に伴う給付費の財源確保は。

一、介護施設に入れず在宅介護を行っている待機者は何名程度か。

一、在宅介護を行っている家族に対する助成は。

一、17度改正の主な内容は。

名です。

在宅介護の家族助成は要介護4・5の認定者で家族介護している人に慰労金10万円を差し上げています。

17年改正の内容等は徴収年齢の引き下げ現行40歳以上を20歳以上に、障害者福祉との統合・自立を促す、利用者負担を現在の1割から2・3割にする等が改正の骨子のようです。

台風災害、被害と救済は

問 台風16号と18号が甚大な被害をもたらした。

農作物の被害状況並びに救済策を早急に調査し、支援を関係機関などに働きかけ対策を講ずべきだ。又、住宅災害や道路、耕地災害等の状況と対策は。

近年にない大災害

答 災害対策本部に連絡があつたのは16号が25件、18号が49件で家屋の倒壊、倒木、道路崩壊、河川氾濫などでした。避難勧告で16号が22世帯30名、18号が23世帯39人が避難をしたところだ。

町道土木関係は18号は確認中で16号については7件が風倒木、路肩、のり面の崩壊が6件護岸1件、縁石1件で国の災害対象は2件程です。

農林関係は16号で稲の倒伏が約522ヘクタールで金額4千4百万程度、野菜850万円程度、果樹で1千5百万程度、花卉で7千4百万程度、施設で6百20万程、耕地災害は30万所9千万円程です。



ハウスなど大被害を受けた栗原地区

18号関係がこれに加算されますので被害はもつと大きくなります。今後、国県に働きかけをしていきます。

単独で進むための 行財政改革プランは

町長／ 自立推進室を設置し 行財政改革を徹底する



井上 里子

問 町は単独の道を進もうとしているが、そのための具体的なまちづくり構想や財政計画がはつきり見えない現状では単独で進むことに不安がある。特に、財政面について、地方交付税等の削減をはじめとする歳入全体の減少分に見合う歳出の削減を、どの部分で、どのように行っていくのか。県からの財政支援について、この6月定例県議会的一般質問に対して、知事は、「自立していける自治体には支援をすることを考えていない。」と答弁されている。それは今後のこともであるが、現在、支援が予定されているものが大きく減るといふことはないのか。たとえば、大吊り橋建設事業のための過疎対策事業債が利用できなくなるといふことはないのか確認したい。

答 これまで、効率性の高い行政運営を目指して、第3次行革まで行ってきたが、引き続きそれを継承し、強化して推進していかねばならない。一番の問題は、しっかりと財政計画をたてることである。10年15年を見越した財政計画と短期的な自立財政計画の2本立てで財政を見通していく。

また、事務事業の徹底した見直し、経常経費を引き上げている箱物の見直し、行政組織機構のスリム化の断行、若干の具

体的なこととして、助役収入役の兼務、課や係の統合、各種委員の統廃合など、組織機構改革の中で、自立推進室を設置し、徹底した行財政改革を断行する。

12月議会、3月議会に具体的な骨子を提案したい。(単独で進むため、大吊り橋建設に予定の過疎債が利用できなくなるのではないかということについて)

国も県も財政が悪くなっている、過疎債の総額が減れば、やはり利用できる額が若干減ることは思っているが、若干起債が減っても計画どおりやり通していかなければならない。そのために、基金を積んでいる。

分かりやすい予算書の全世帯配布を

問 住民参画のまちづくり、住民と行政の協働によるまちづくりを効果的に進めるために、また、予算の公表のために、毎年度初めに、予算概要説明書を大きな文字と分かりやすい文章で作成し、全世帯に配布できないか。

導入に向けて前向きに検討する

答 この件については、「まちづくり基本条例」策定会議の中で随分議論された。情報の公開・行政の説明責任・住民参画といった観点から一番よいのではないかとこのことで研究している。導入に向けて、前向きに検討していきたい。

中・高校生の町づくり参加を進めるために

問 町の13年度・14年度の生涯学習センター事業計画、「九重未来つ子」という事業があがっていた。事業の目的は、「政治はなれしている若者たちに、町づくりへの関心を持たせる。」ということで、中・高校生を対象に年に4～5回の活動となっていたが、事業は実施されないままである。ぜひ、何らかの形で実施してもらいたい。

答 取り上げていきたい。



単独の道を進もうとしている九重町

危険箇所の 点検と改善を

町長／ 順次改善して行く



江藤 一幸



野上商店街入り口

問 7月末に中学3年生が不慮の事故で亡くなりました。御冥福を祈ります。現場は町道で、カーブを曲がり切れずに、早朝、自転車もろとも約6メートル下の町道に転落した事故で、その後現場には、ガードレールやフェンスが設置された。事故が起きてからの対応でなく、予測して早めの対応が大事だ。

日常生活に潜む危険回避の防災力の向上を。

順次改善して行く

答 言われる通りだと思います。街路灯は、早い時期に改修をやろうと努力しています。危険箇所については毎年パトロールし、見て回っています。予算を必要としますから、国や県の補助をいただきながら、順次やっています。今後も努力していきます。防災無線は、今年度中に全てが完成するので問題は、ほぼ解消すると思っています。

野上の街路灯ですが、町は、危険回避の願い等聞いているのに、対応が早期に出来ていない、西の町道下防災槽の所にガードレールの設置を……！2点ほど事例を出したが、いま一度町内の日常生活の中の盲点になっている危険箇所を総点検し順次計画的に改善を。

防災無線対応しきれているか。今後の対応は？

市町村合併・ 選挙公約は

問 任期を待たずして選挙したメリットは……？
8月の選挙公約を実現するために、どう取り組んできたのか。

合併協解散へ進める

答 中途半端な考えを持っていたのでは、相手に悪い。はっきりした態度を持つて臨むべきだという考えで辞職し、選挙で方向性は皆さんが認めて

いただいた。8月中旬に玖珠町に口頭で、合併協議会の解散を申し込みました。精力的に解散の手續きを進めていきたい。

人を育てる 国土を

単独での町づくりを
強調する町長



問 小さな自治体がすぐれた自治を実践し、有名になるケースが増えていきます。それらの自治体の共通点は、物、金がないため、人を育てる風土があるということだと思います。九重町の社会教育の再構築が大事です。現状、課題、展望について教育長の考えを聞きたい。

人づくりを推進

答 自立の町づくりで『きりと光る町づくり』を推進していかなければなりません。非常に難しいところもございますが、現在の事業内容を充実し、人づくりを推進していきたいと考えています。





法定協議会の解散を

町長／離脱を視野に入れて

問 3月の法定協議会で合併凍結を行った後の各地を回った説明会や、町長が6月に辞職した後、説明会等、合併問題は十分話され、合併はしないと言う事はほとんどの町民が理解し納得している。この合併問題に早くけりをつけ、新しい町づくりを始めるためにも法定協議会の解散を早急にするべきではないか。

答 現在法定協議会そのものは、全く職員もおりませんし、解散状態と同じですがやっぱり協議会の解散の手続をすべきだと思っていますから、話し合いをしてできれば離脱ということも視野に入れて、九重町の態度を明確にすべきだと思っています。

産廃処分場に対して町の対応は

問 産業廃棄物の最終処分場建設の計画が中東にあると聞くが、安定型最終処分場には問題が多く、安定5品目もガラスや陶磁器くずを除いた残りの品目については安全とは言えないと、6月に行った講演会で九州大学の安藤先生も言っている。住民の人達が正しい知識を持つて産廃問題を考える

事ができる様に、行政が説明会等を持ち、情報提供すべきではないか。又関係地域を500メートル以内とする考え方では、九重町は町民の知らない内に産廃場だらけになる可能性もある。長期的な町づくりの環境としても考えなければならぬのではないかと。

二件の照会が

答 現在中間処理施設と安定型最終処分場のこの2件の照会が町に出ている。



最終処分場が予定されている付近

環境問題は九重町の町づくりを考える上で非常に大きなポイントになると考え、まちづくり基本条例の中に環境問題を入れ、九重町のすばらしい自然環境を守る事が行政の大きな柱として持つていくべきと思う。

地域内循環で町の活性化を

問 町の活性化を行うためには地産地消、地域内循環が大切であると思うが役場の職員採用や、町が出す土木工事や建築工事で町内業者の受注等はどうなっているか。

又農産物の地産地消を進めるために、農家と消費者である旅館やホテル等の間に行政がもつと積極的にかかわって勧める事が必要ではないか。

答 役場の職員採用は人権にかかわる問題で町民だけという事にはならないが、できるだけ九重町に住んでくださいとは言っている。ほとんどの方が九重町に来て住んでいます。

建築や土木工事の割合は地域、地場産業の育成と基本に置いて大型でない限り100パーセント地域の関係者に発注している。農産物の地産地消の問題は極めて難しいところではあるが、関係機関、組織と協議を強めて、その方向を目指していきたい。

各地を回って住民と町づくりの対話を

問 今土曜日のふれ合いタイム等で町長と話す機会はあるが、九重町単独での町づくりを理解してもらったり、町民の意見

を多く取り入れるためにも一年に一回は各地区を回って話し合いの場を持つてはどうか。

地区に出来る事も

答 今までは私の方でふれあいタイムをここでやっていましたけども、時には夜やることもいいでしょうし、地区に出るこ

ともいいと思いますから、そういうものも含めて検討していきたいと思っています。

シイタケ産地が危ない

町長／町の特産であり充分考慮



坂本憲治



ハウス内のシイタケ原木

問 健康食品の代表的食材として皆さんに親しまれ、林業では、短期的収入源として、農家、林家、地域経済を支えて来ましたが、シイタケ。町内には現在、約20年分のクヌギの蓄積量があり、担い手の高齢化、生産量の不作、減少に伴う収入減と、椎茸生産者はきびしい現実と戦っており、県内最大の原木生産地の豊富な資源活用と生産者の基盤強化の為に、町独自の支援策は考えられないか、伺いたい。

答 県は16年度をもって、支援対策事業の一部の cutoff を示しており、町も、当初予算計上はしておりますが、県の財政事情により、全部の事業が実施出来ない状況です。何かの施策が必要と考えられます。事業の総点検が必要であり、今後、スクラップ・アンド・ビルドで事業を確立します。シイタケは、九重町の特産でもあり、生産者の皆さんと十分協議をして、補助するの何が一番いいのか、予算編成に考慮して行きます。

地域活性化と 商品券事業について

問 日本の経済は、まだまだ不況の領域から脱し切れず、厳しい状況の中、町内商工業においても、大型店等の顧客の流出から厳しい現状であり、町づくりを推進する上で、地場産業の活性化こそ、地域の活性化につながると思われる。平成12年度から推進して来た、商品券事業をもっと活用し、各種行事、お祝い、初盆等のお返しにご利用頂く事が、町民、商工業にとって役立つと考えるが。



町内のショッピングセンター

商工会と 協議します

答 商品券事業は、町内経済の活性化の為に、商工会、行政がタイアップしての一大事業として行政も財政支援をし推進してまいりました。消費者からは大好評で、16年度3500万円の実績となりました。大変好評ですが、財源が伴いますので、商工会とも充分協議をしてまいりたいと思っております。

自立に向けた 町づくりは！

質問内容が3名の方と重なった為に、内容については、前者質問にて、町長の合併、町づくりに対する考え方はわかったもので、早い段階で町民の皆さんに、財政資料等含めての理解を求める様、又町民あつての行政であり、三役、課長、職員意識改革、そして、やる気の出る職場づくり、ムダのない事業チェック、組織、あるいは機構の見直しなど、行政自ら改革する事が大切で、是非とも抜本的な改革を要望する。



若者が
住みたくなる
町へ

南山田（菅原本村）

梅木武彦さん



我が九重町も少子高齢化が進んでいます。やはりその影響は地区の行事や活力にじわじわと出てきているように感じられます。その中でも若者の定住は重要な問題です。定住したくても職場がないからと諦めているのが現状ではないでしょうか。定住へ向けて地域独自にいろいろな情報が集まる場所や支援組織からのサポートが必要ではと感じています。九重町は昔より農業が盛んなところですが、新規就農者は毎年数えるほどです。それで



トマトを選果する皆さん

も県下では多い方だと聞いています。他県での研修先では規模拡大が進み自信をもった農家には後継者がいます。他方都会に住む人の中には農業に魅力を感じ就農を希望する人が多くいます。これは農業をやり甲斐のあるひとつの産業だと見てい

るからです。九重町には豊かな自然や温泉がありすばらしいところです。ここにしかない「豊かさ」や「住みやすさ」が感じられ農業が魅力ある産業として若者が定住の理由となり得るように行政から強力な支援をお願いします。

彼岸花

東飯田（後述）

佐藤 信義さん



わたしの ひとこと

台風16号、そして八日後、近年にない強烈な台風18号に襲われ、多くの被害、特に農作物は大打撃を受けました。地面に転がった多数の梨、無残になぎ倒された稲。しかし倒れた稲の畦間には、鮮やかに彼岸花が咲きみだれ、何処からか木犀の甘くほのかな香りが漂う、今の季節が、私は一番好きです。

彼岸花（ヒガンバナ科）は古くから中国から渡ってきたものと考えられている。身近な花で、多く

の呼び名があり、その数は千をも越すといわれています。人里近くだけに生える多年草の花で、鱗茎にアルカロイドを含む有毒植物とされています。かつては、この澱粉を水にさらして毒性を除き、食品として利用されていたとも記されています。

これから、秋の深まりを感じつつ、仕事のあいまに、野山を歩きながら季節の野草をカメラにおさめたいと思います。



美しく咲きほころぶ彼岸花

こんな町にしてほしい

町民のニーズに応えられる町に

野上中学校3年

左藤 恭子 さん



私は、九重町の良いところは福祉施設などが充実していて、地域とのつながりも大事にしているところだと思います。ただ、今の九重町には若い人達を引きつけるものが足りないと感じています。今は少子高齢化社会なので、これからは介護施設やそういった機

関の充実も、もちろん大切になってくると思います。でも、それだけでなく人口が少なくなっている時だからこそ若者に九重町の住み良さをどれだけ実感してもらうか、そして若者をこの町にどれだけ惹きつけられるか、ということも重要になってくると思います。

自分が今考えている住み良い町なら、やはり真っ先に、もつと身近に品ぞろえの豊富な大型店があればいいと思います。しかし、仮に大型店ができたとしても、

議員リレー

随想

37

秋祭り



佐藤 勝憲

台風16号、18号と二度に渡り被害にあわれた町民の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

実りの秋を迎え、各地域の神社では年に一度の五穀豊穡の願いを祈って秋祭りが催されています。秋祭りといえば笛やたいこ、出店・芝居と、きまったものでした。村人全部が祭り一色でした。ところが近年では、お参りする人も少なく、世の中の変わりが早く昔から引き継がれて来ていたことが段々と薄れてきています。

今、私たちでもう一度昔にふりかえり氏神を守って、次の世代の若者達につないでいけたらいいと思っています。



台風災害で多大な被害を受けた梨農家



本年早くも秋の季節、食欲の秋、収穫の秋とも言われた本年は比較的天候に恵まれ順調に生育し収穫を楽しみにしていた矢先台風16号そして追い打ちをかけるように大型台風18号と我が町を駆けめぐり甚大な被害をもたらした。自然の猛威には現代社会をもつてものすすべもない。近年農業を取りまく環境はきびしい、しかし農業の振興あつてこそ町の繁栄の原点であり、基幹産業である農業振興に尚一層の努力が必要と同時に行政並びに関係機関の速やかな対応が望まれる。

Y・S